

京都文化交流 コンベンションビューロー通信

4²⁰²⁴月号

KYOTO
TRADITION MEETS INNOVATION

CONTENTS



AIME2024（場所：メルボルン）での出展の様子

- P1…令和6年度事業計画について
- P2…MICE 商談会「AIME2024」に参加
- P2…Kyoto MICE TRADESHOW を開催
- P2…MICE 会議を開催
- P3…京都レストランウインターズスペシャル 2024 を実施しました。
- P3…京都に誘致成功した国際会議・京都で開催された国際会議が、日本政府観光局（JNTO）より表彰されました。
- P3…京都迎賓館 PR 動画の第三弾（茶道）を作成
- P4…街かど古典カフェ開催のご案内と15周年記念誌発行

令和6年度事業計画について

我国の観光はコロナ禍から回復し、活況を呈していましたが、令和6年1月1日に能登半島地震が発生、早期の復旧・復興が望まれています。京都においては2025年大阪・関西万博に向けた取組などが期待される一方、オーバーツーリズムや、担い手不足が課題となっています。当ビューローは、京都の現状、社会の潮流に鑑み、文化・芸術の振興と国際会議等 MICE の誘致や開催支援に引き続き努めます。文化庁をはじめ国や関係団体との連携を深め、オール京都体制の下、文化振興と経済活性化の好循環を加速させ、国際的な文化交流拠点・京都の持続的発展に寄与してまいります。

このため、次の4点に重点的に取り組みます。

1 古典の日推進事業の充実

「古典の日推進委員会」が発足して15年、NHK大河ドラマ「光る君へ」を契機に源氏物語など古典文学への関心を高め、古典の日普及につなげる。

「古典の日フォーラム」では文化庁との共催や国民文化祭開催県との連携を継続、古典の日朗読コンテストではクラウドファンディング事業も展開、街かど古典カフェでは若い世代に親しみやすい講座とする。「古典の日文化基金賞」は、令和8年度の表彰から次世代継承に特化するための準備を行う。

2 MICE 誘致・国際観光を通じた京都経済への貢献

MICE は、オーバーツーリズム対策としても上質観光としても有効。MICE 開催の意義・効果等の調査を行うとともに、環境への配慮や安心・安全対策などに対応し、大学、学術団体等への働きかけを強化。海外商談会に国立京都国際会館をはじめ関係者と共同出展するなど誘致活動、プロモーション活動に注力。SDGs の達成に貢献し、

MICE 都市京都のブランド向上に努める。

万博を見据え、海外からの企業ミーティング、インセンティブツアー誘致や受け入れ環境整備の拡充、関西文化学術研究都市への誘致促進など京都経済への貢献を図る。

3 文化・観光・経済の好循環促進

文化施設等を会場とする「ユニークベニュー」の活用、国際会議やイベントに加えインセンティブや企業ミーティングの際のオフサイト・レセプションにおいて伝統芸能鑑賞、伝統工芸品の活用と併せ、質の高い通訳サービスによって、訪問者の伝統文化への理解を深めてきた。さらに、文化首都として全国の文化振興に貢献するため、MICE 開催や国際観光を通じ、地域経済の活力を伝統文化や自然景観等に還元し、国際会議を契機とした公開講座など市民生活への還元や、地球環境、SDGs への貢献等持続可能な MICE 都市を目指した取組を進めると共に「京都 MICE 基金」への主催者・参加者等の理解・協力を求める。

4 関係団体との連携推進・組織強化

「大阪・関西万博きょうと推進委員会」の共同代表、「文化庁連携プラットフォーム」への参加など、京都経済の活性化と地域振興への貢献を継続。さらに、京都府観光連盟・京都市観光協会との連携を深め、観光振興・地域振興を図る取組と積極的に連携する。

引き続き「会員の集い」を開催し、会員相互の交流を深め、相互の事業発展に資するよう効果的な運営に努める他、観光協会とともに発行するニュースレターにより MICE・インバウンド等の情報提供、斡旋、紹介に努め会員満足度の向上を図る。

MICE MICE 商談会「AIME2024」に参加

2024年2月19日～2月21日に、オーストラリア・メルボルンで開催されたアジア地域における最大級のMICE商談会「AIME2024」に参加し、在オーストラリアの京都市海外情報拠点と連携し、商談を実施しました。

本商談会には、オーストラリアを中心に、世界中から600名を超える招待バイヤー（案件保有者）が参加し、当ビューローはバイヤーが顧客に対して京都でのMICEを提案するための、ユニークベニューやアクティビティ、ホテル、MICE施設等の情報提供を実施しました。

2025年の大阪・関西万博を好機と捉え、今後もステークホルダーの皆様と連携しながら、世界からのMICE誘致に取り組んでまいります。



現地での商談会の様子

MICE Kyoto MICE TRADESHOW を開催

公益財団法人京都文化交流コンベンションビューロー及び「M & C (Meetings & Conventions) ASIA」は、MICE専門の商談イベント「Kyoto MICE TRADESHOW in corporation with M&C ASIA 2024」を、3月12日～15日にかけて、日本で初めて京都で開催しました。

当日は世界各国から10名の案件保有者（バイヤー）が京都に集い、イベント初日は市内各所を視察いたしました。視察においては、将来のMICE開催の際に実際に取り入れていただくため、座禅体験（朝観光／時間の分散）、とっておきの京都エリアである伏見（場所の分散）、旧三井家下鴨別邸をはじめとしたユニークベニュー、伝統産業製品の製作体験、国立京都国際会館等の会議施設の見学等、多くの視察を実施いたしました。

2日目には、京都市内の12事業者との商談会を実施し、夜にはレセプションを実施いたしました。商談実施前には、当財団より、「会議の開催に当たっては、時期、時間、場所の分散に協力いただきたい。また、住民生活の支障にならないよう行程を組むと同時に、京都観光モラルを順守いただきたい。」旨をお願いし、商談を開始しました。

本イベントを通じて、MICE開催都市としての京都のプレゼンスを高めると同時に、付加価値が高く、持続可能なMICEの誘致・開催に努めてまいります。



初日の伝統工芸体験の様子



2日目の商談の様子

MICE MICE 会議を開催

3月22日に、京都市と当ビューローが主催する「京都市 MICE 会議」を開催いたしました。

当日は、有識者や、会議施設、旅行会社、会議運営会社の代表・役員等、MICEに知見の深い方々が集まり、今後、国際的な移動の本格的な復活が見込まれる中、先を見据えた需要獲得、

京都における持続可能なMICE開催の在り方などについて、情報交換・意見交換を実施しました。

当ビューローでは、ステークホルダーの皆様と連携し、MICE需要獲得と開催支援の強化、持続可能なMICE開催等に取り組んで参ります。

主催団体である京都レストランスペシャル実行委員会の一員として、京都を代表する料亭やレストラン、ホテルなど185店舗が、この冬ならではの期間限定メニューを特別価格で提供する「京都レストランウインタースペシャル2024」を、令和6年2月1日から3月17日まで開催しました。

15回目となる今回は、冬の観光誘客キャンペーン「京の冬の旅」とも連携し、京都の食を「楽しく、おいしく、安心して」味わっていただける機会の提供と、冬の京都の魅力発信を行いました。

また、京都レストランウインタースペシャル2024を応援していただけるアンバサダーとして、昨年就任頂いた、以倉敬之様、鈴鹿可奈子様、柗木良子様、松山大耕様様の4名様に、新たに、男子バレーボール選手の高橋藍様、未生流笹岡家元の笹岡隆甫様、有斐斎弘道館館長の濱崎加奈子様にも就任いただいたことで、今年も多くのお客様に冬の京都の食を楽しんでいただきました。



京都に誘致成功した国際会議・京都で開催された国際会議が、日本政府観光局（JNTO）より表彰されました。

日本政府観光局（JNTO）が国際会議の開催や誘致の好事例を表彰する「2023年度国際会議誘致・開催貢献賞」の表彰式が2月15日に東京で開催され、「誘致の部」・「開催の部」で各3件選出される中、京都に誘致成功または開催した国際会議がそれぞれ1件ずつ表彰されました。

誘致の部で表彰された「第16回アジア・オセアニア耳鼻咽喉科・頭頸部外科学会」については、粘り強く丁寧な誘致活動を行ったことや、助成金や教育プログラムの無償化など、若手や低所得国からの参加支援を拡充させたことにより、海外競合を制して日本初誘致に成功した点が評価されました。

また、開催の部で表彰された「第29回国際高血圧学会」（開催の部）については、同学会が推奨する塩分量で作られた「京都ワンダーミール」のお弁当提供、ユニークメニューの活用、芸舞妓のライブ配信を行う等、地域色を打ち出す工夫を行ったほか、若手研究者への奨励賞授与、途上国からの参加者への渡航費補助・参加費免除、登壇者のジェンダーバランスにも配慮する取組等が評価されました。

当ビューローでは、今後も引き続き、主催者・関係者と密に連携し、全国の模範となる誘致・開催事例を創出して参ります。

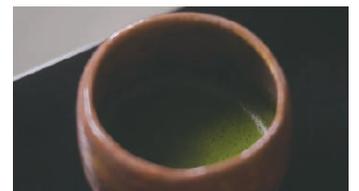
京都迎賓館PR動画の第三弾（茶道）を作成

京都迎賓館は、数奇屋大工、左官、庭園など11種の伝統技能者の技が使われ、同じく調度品にも截金、蒔絵、西陣織など14種類の技が活用された、我が国屈指の京都の伝統技能の粋が現代に結集した施設です。

国の迎賓施設として国公賓等の接遇を行っており、京料理、いけばな、茶道など、京都の持つ1200年にも及ぶ歴史と文化でおもてなしをしています。

この度、その京都迎賓館が持つ技とおもてなしの価値を多くの人に知っていただくため、これまでの「京料理」「華道」に引き続き、「茶道」をテーマとする動画を作成いたしました。

動画には、茶道裏千家家元の千宗室氏に御出演いただき、京都迎賓館での接遇における茶道の役割やおもてなしなどについてお話をいただいております。



「古典の日」の推進のため、「源氏物語千年紀」委員会を引き継ぎ、2009年4月に古典の日推進委員会が発足してから、今年で15年を迎えます。その節目の年に、NHK大河ドラマで紫式部が主人公の「光る君へ」が放送され、『源氏物語』や古典に注目が集まり、推進の追い風になっています。

1 街かど古典カフェ

今年の「街かど古典カフェ」では、紫式部にスポットを当て、『フェミニスト紫式部の生活と意見』～現代用語で読み解く「源氏物語」（集英社）を出版された作家の奥山景布子さんを講師に招き、2回連続講座を開催します。

現代用語で読み解きながらイマドキの私たちだからこそ分かる真実の「紫式部ワールド」を読み解き、奥山先生のわかりやすい解説で原文の「源氏物語」へとつながります。

日時：①4月27日（土）②5月25日（土）

いずれも10:00～11:30

会場：京都経済センター3階3-F会議室

受講料：4,000円（税込）2回通し

※ 学生半額（当日学生証の提示が必要）

※ 講座終了後、書籍販売と奥山先生のサイン会があります。詳細は古典の日のホームページでご確認ください。



奥山景布子さん

2 古典の日絵巻

古典の日のHPを彩る「古典の日絵巻」は第13巻目となります。今年のテーマは、「御簾の下からこぼれ出る女房装束」。平安時代の絵巻物等に描かれた天皇や貴族の居住空間やそこからこぼれ出た女性の装束等について、大妻女子大学准教授の赤澤真理さんに執筆していただきます。ドラマと一緒に平安装束にまつわるお話をお楽しみください。



赤澤真理 准教授



姫君の空間

3 古典の日15周年記念誌

昨年の古典の日宣言15周年を記念して、これまでの歩みを振り返り、「古典の日」推進の活動をまとめた記念誌を発行しました。関係団体にお配りするとともに、多くの方に読んでいただけるよう図書館や文化施設等に配布しますので、機会がありましたら手に取って読んでみてください。



新規賛助会員のご紹介 2024年3月1日現在

アゴラ京都烏丸
TEL: 075-353-1118
<https://www.agora-kyoto.com/>